



2015年は飛躍の年！ 新チームの船出だ！



最終戦は仙台FCとの熱戦！



仙台FCとの合同合宿。あれから半年…

クラブユース新人戦

2014年度の最後の公式戦、クラブユース新人大会。最終戦は、仙台FCとの対決でした。最終戦を仙台FCと戦えたことは少し感慨深いものがあります。今まで幾度となく交流試合を重ね、特に去年は県1部リーグでしのぎを削り、夏には宮城県代表として岩手県で行われたクラブユース復興支援東北大会に共に出場、続けて秋田県の『海の家』での合同合宿と、多くの思い出を共有しています。今回の試合前には異例の『2チームが肩を組んでの集合写真』をパチリ。試合前だけに『八百長試合だ〜！』とのヤジが飛びました(^_^) 試合はアバンらしいテクニカルなつなぎからの先制点。FKのリスタートからの失点。逆転負け。良いところも悪いところも浮き彫りになった試合でした。最終戦にふさわしい相手との、次年度につながる、楽しい試合だったのではないのでしょうか！

仙台FC代表・越川さん。お世話になっていきます。



第7回
アバンがわらばん
ジュニアユース
2015年2月号

新チーム キャプテン復帰！

新チームキャプテン・小島丈くん(中2) 彼は3ヵ月前、練習試合で鎖骨を骨折。新人戦の予選には出場できませんでした。その彼が満を持しての復帰です！中位トーナメントの準決勝、決勝に出場しました。前(中3)のキャプテンは皆が認める(もうすでに伝説の)キャプテン。彼を超えるキャプテンシーを丈くんには期待しています。下記に紹介するのは、その丈くんの復帰戦直後のサッカーノートです。『サッカーノート』はアバンの選手の大事な取り組み。その中には、様々な悩みや喜び、彼らの想いがつまっています。まさにその内容は青春の軌跡そのものです。コーチの指導経験からも、サッカーノートの質が高い選手は、成長スピードが早い！ジュニアの選手も参考にして下さい。

青春のサッカーノート

今日は、約3ヵ月ぶりにアバンの活動に参加した。さらに試合にも出させてもらった。気持ち的にはワクワクした気持ちもあったが、やはり不安感が強く『大事な時にミスしたらどうしよう』というネガティブな気持ちもあった。やはり3ヵ月というブランクは大きく、さらに雪の中なのでボールを足下に抑えることが難しかった。雑なプレーも多かった。足だけでボールを取りにいったり、動でパスを出していた。緊張もして、サッカーというものがとても難しく思えた。しかし、後半からは気持ちをしっかりリセットできたと思います。テクニックではまだまだなので『走り』や『気持ち』で相手に勝とうと思えば後半にいどみました。気持ちが楽になったせいか、適切な判断もできて、アシストまでできた。また、FWとしての動きはおとろえていなかったというのが正直な思いだ。間でうけたり、長い距離を走って裏でボールを受けたり、ふくらむ動きだったり、今日は本当に『動き』だけは良かったと思う。自分の良さをさらにのばし、明日の試合でもゴールを目指したい。

トーナメント準決勝は雪上サッカー！

4対2の勝利！

新キャプテンの復帰戦は、これもいつもお世話になっているFCエナブル。悪い環境でも戦えるタフなハートが試された試合でした！



「ジュニアユースがわらばん」前書き

『ジュニアユースがわらばん』も7号目！毎回、たくさんの反響を頂き、徐々に皆様に浸透してきた感があります。コーチの希望として、この『ジュニアユースがわらばん』はジュニアの選手にも見て欲しいです。兄貴分であるジュニアユース選手の頑張る姿から何かを感じて欲しい。文章はあえて多めですが、じっくり読んで将来の自分をイメージし、今なにをやるべきか考えて欲しい…！というのがコーチの想いです。今後も大人も子どもも楽しめる充実した内容のクラブ会報誌を目指していきます！

アバンスポーツ仙台SC飛足！



「放課後等デイサービス」とは、小学生～高校生までの発達に心配のある子供や障害を持つ子供を、学校の放課後や休みの日にお預かりし、生活能力の向上や訓練を行うものです。15年間のアバンツァーレで培ってきたスポーツ指導を活かし指導に取り組み、地域社会に貢献する心づもりです。

「アバンツァーレスポーツ仙台SC」のチーム活動がスタート。活動目標は『10月全国知的障害者サッカー競技会に参加』『他の団体との交流を行い、療育の一助とする』です。初回と2回目の活動は、ジュニアユース選手がサポート。コーチの目からみて、彼らは最高の「コーチ」でした。

表現するなら、源晴コーチの1年目の時より彼らの方が指導者として上かもしれません。笑顔で、オープンマインド、優しくて気づかいのある声かけは、普通なかなかできないものです。コーチその時感じたのは『誇らしい』という気持ちです。ひよっとすると、これはアバンにしかできないことかも…、とさえ思えました。

青春のサッカーノート パート2

『今日を振り返って』今日は最初の1時間、アバンスポーツのお手伝いをしました。そのときに感じたことがありました。今まで自分は、自分が言っていることと他のことを相手が行っていることとつい悩んでいました。すぐ『伝えること』をあきらめてしまっていました。自分は丈と一緒にすぐる君のお手伝いをしていて、名前を覚えてもらえなかったけど、あきらめなかったら、最後は覚えてくれました。その後のゲームで、その前に『あきらめなかったら自分の伝えたいことも分かる』ということを感じておきながらできなかったです。自分の意識の問題だと思えます。これからは意識を高くもち、相手がどの言葉を言われたら素直に納得できるかを考えていきたいです。





熱血青木コーチのリベンジマッチ

皆さんこんにちは。青木コーチです。コーチは年末、高校時代の仲間たちとフットサルの大会に出場しました。定期的に行われるその大会に、コーチたちチームは年に4回くらい出場しています。ただ、毎回おしくも優勝を逃し、いつも2位や3位といった結果です。そんなこともあり今回は「必ず優勝してみせる!」と、チームメイト共々かなり強い気持ちで望みました。しかし情けない事に…、夏ぶりの出場ということもあり、みんな全く体を動かしていなかったのでだいぶ運動量は落ちていました…。結果、4試合行って2勝1敗1分け。またしても3位という成績で終わりました。正直、自分の中では「うちは絶対に優勝できる実力がある」という気持ちがあったんです。ただコーチ自身が良くなかった…。運動量、技術面の衰えが随せず、最後まで戦いきれませんでした。自分がしっかりと動けば優勝できていました。今回は「気持ちだけじゃダメだ」ということを強く学びました。コーチはまだまだ若いですが(^o^)/ まだ成長の余地はあると信じています! これからもジュニアユース選手と汗を流し、「成長する」という点でも、選手たちの見本となれるように本気でサッカーに取り組みます!



共に掃除に学び、成長しよう!

「挨拶」「整理整頓」はジュニアユースのみならず、アバンツァーレジュニアサッカークラブ全体の重要な取り組みです。普段、コーチたちは、耳にタコができるくらい選手に言い続けていることですが、実は、コーチたち自身も本気で取り組んでいるのです! まず、コーチたちの一日のはじまりは「1時間の掃除、整理整頓」からはじまります。トイレはブラシでするだけでなく、雑巾で直に丁寧に磨く。机や棚など重いものでも、動かせるものはどけて掃除する。雑巾を干すときは、裏表、角をきっちりそろえて干す。すべてにおいて水平、垂直、直角、平行、頭ぞろえを守る。見えるところはもちろん、見えないところこそきれいにする。例えて言うなら、毎日が年末の大掃除のようなものです。アバンの大きな方針・哲学は「サッカーは(サッカー以外の部分を含めて)すべてでうまくなる」です。サッカーの指導者もサッカー以外の部分で向上すると信じます。選手の皆さん、共に掃除に学び、成長しましょう!



取り組みの成果!



角をそろえる! 用具の手入れ 悪い見本。泥だらけです。

サッカー人生はケガとの戦い。



「U13みちのくリーグ」で、及川大翔くんが右膝半月板損傷の大怪我を…。手術、入院となってしまいました。彼はジュニア時代、目標としていた全日本少年サッカー大会も左膝の前十字靭帯の損傷のため出場することができませんでした。特に最近では、1年生ながら新チームのスターティングメンバーに名をつらねることが多くなってきただけに…。悔しい気持ちでいっぱいでしょう。今はケガを治す事に集中するしかない。現在、リハビリに一生懸命はげんでいます。また、自主学習や読書など、とにかく今やれることを精一杯、積極的に取り組んで欲しいです。一生無傷のサッカー選手などいません。プランクの過ごし方で、強くも弱くもなれるのだ。先日、チームメイトが見舞いにかけたそうです。特に先輩が多くかけたのが素晴らしいと思いました。仲間はみんな君の事を待っています。余談ですが、彼は現アバン会員の中で一番在籍期間が長い選手です。年少からアバンに所属しているので、今年度で実にアバン歴10年目! 生粋のアバンっ子の復帰をみんなが待ち望んでいます。

年末年始の出来事をダイジェスト。



仙台中田戦!

また笑顔で会いましょう!

年末は一人一人の個人面談を実施。2015年の目標を立てました。インフルエンザでできなかった選手の自宅にも訪問し、やり切りました。2014年家り納めはこれもお世話になっている仙台中田さんと練習試合。アバンの受験生もこの日はたくさん来てくれました(少し太ったかも…)。そして大学生になった1期生が帰郷に挨拶に来てくれました!!

アバンツァーレサッカークラブ会員参加型企画!

リフティング研究部からの課題。

～ 部長・川部空輝くんからの挑戦状 ～

アバンジュニアユース「リフティング研究部」では、「サッカーを楽しむこと」「ボールコントロール技術の向上」を活動目標に、日々鍛錬をつんでいます。新しいリフト技術を考案したり、何千、何万回とボールに触れています。今回は、部長の川部空輝くんから、リフティングテクニクの課題を出します! 2月中にこの課題をクリアした選手には…

「豪華景品」を用意しています。

コーチの前で成功すればクリアです。課題「世界一周(アラウンドザワールド)」※リフティングしながら、ボールの周りを足で回すこと。その、「内回し」→「外回し」→「内回し」つまり3回まわります。実際にやっている動画をホームページにアップしました! アバン公式ホームページの「What new」をご覧ください。

★「世界一周」のコツ

- ①ヒザを曲げたまま回すこと。
 - ②焦ってボールをこすり上げないこと。タッチはゆっくり、足の回転は速く、というイメージで。
 - ③足首を曲げることで内回しは内側に、外回しは外側に)
- ※ジュニア選手も参加OK! 挑戦者必す!!

